

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善への取組について

当院では看護師でなくとも対応可能な業務等を他職種と分担し看護師の負担軽減に努めています。

1. 従前、褥瘡の発生予防・ADL（日常生活動作）向上には、看護師が中心に行っており多くの時間が必要で業務負担の一因となっておりました。
 - ・看護補助者にも看護師指導のもと体位変換等、褥瘡予防への取組に参加し業務負担の軽減に努めています。（そのための褥瘡の機序や予防方法、体位変換の方法が習得できるよう研修会の開催、褥瘡予防委員会への参加等も行っています。）
 - ・ADL が低下すると車椅子への移乗、ポータブルトイレの使用等もスムーズに行えなくなります。看護補助者も参加し ADL 向上に努めています。（そのための離床の必要性、安静度等の理解とその研修等も行っています。）
2. 病院では治療を行う為の多くの医療機器を使用しています。

機器の安全管理には定期的な点検・修理等を行う必要があり看護師の業務負担の一因となっておりました。

 - ・当院では診療放射線技師が看護師に替わり医療機器の定期点検等安全管理に関わり看護師の業務負担の軽減に努めています。

平成31年3月
岩崎病院 院長